

(3)初瀬

(桜井市初瀬～吉隠)

長谷寺は朱鳥元年(686)創建ともされる真言宗豊山派の総本山で、平安中期には紫式部や清少納言により観音参りが広められた。上化粧坂へは仁王門の横を流れる初瀬川を少し遡った連歌橋を渡り、興喜天満神社前を通る。



22 長谷寺
仁王門から本堂へ続く登廊の石段は399段。四季の花々が境内を彩る



23 興喜天満神社前の道標
鳥居前に移設されたため「ひだりいせ」とあるが、天神橋からは右へ坂道を上る



24 上化粧坂からの眺望
本居宣長が「まるで別世界に来たようだ」と感嘆し、松尾芭蕉も印象に残る峠と記した



26 多羅尾瀨への道標
信号を渡った浄水場のフェンス内にある。多羅尾不動堂を示す



25 庚申辻の道標
上化粧坂と下化粧坂が合する庚申辻に建つ



27 石の覆いを設けた地蔵
約150mの旧道の中程左手にある



19 法起院境内の道標
西国三十三カ所番外札所。道標は山門をくぐった右手にある



20 長谷寺前の道標
桜井市笠の登山荒神を示す



21 行悦道標①
宝物殿前に建つ廻国供養碑で「いせ宮川へ廿一里半」と刻む。元位置は西峠付近か?



17 伊勢辻の道標
三叉路を右に折れると伊勢辻橋で初瀬川を渡る



18 伊勢辻橋
橋を渡って左へとなれば下化粧坂、右折すれば山口神社の横から国道へ出る



15 近鉄長谷寺駅
長谷寺へは石段を下り国道を横断して参急橋を渡る。特急、快速急行以外は停車



16 長谷山口坐神社
門前町途中を右へ朱塗りの太鼓橋を渡り、石段まじりの急な参道を上がる

獣害防止の柵を通りアゼ道を歩く

この部分は前ページをご覧ください

この部分は次ページをご覧ください

- 地図内凡例
- 道標など
 - 常夜灯
 - 神社・仏閣・城址など
 - まちがえやすい分かれ道
 - WC トイレ
 - 地蔵など
 - その他文化資産等
 - 案内板